

東急線アプリをもっと便利にリニューアルします！

- ・ホーム上の混雑度を視覚的、かつタイムリーにご確認いただける「駅視-vision(ホーム上混雑度表示)」
- ・「車両別混雑度表示」を東横線・目黒線にも導入

～混雑の見える化を図り、分散乗車による快適なご利用を促進します～

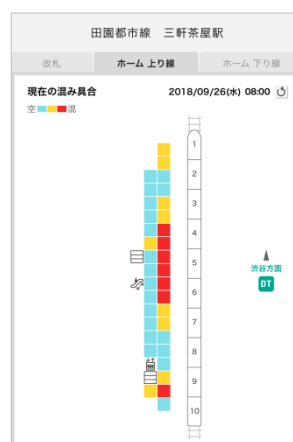
東京急行電鉄株式会社

当社は、お客さまのさらなる利便性向上と、分散乗車やオフピーク利用の促進をめざし、9月28日から順次、スマートフォン向けアプリ「東急線アプリ」(以下、本アプリ)のリニューアルを行います。駅構内カメラから取得した画像を解析して活用する「駅視-vision(エキシビジョン)」(以下、「駅視-vision」)を用い、「駅視-vision(ホーム上混雑度表示)」を新たに導入します。また、田園都市線で実施中の平日全列車の車両別混雑度を、東横線・目黒線でも順次開始します。

「駅視-vision」では、駅改札付近の混雑度をリアルタイムで表示する、既存の「駅視-vision(改札付近混雑度)」の機能に加え、新たにホーム上の混雑度をリアルタイムに表示する「駅視-vision(ホーム上混雑度)」の機能を追加します。

「駅視-vision(ホーム上混雑度)」では、駅ホームの構内カメラから取得した画像を解析し、混雑度をヒートマップ形式でリアルタイムに表示します。あわせて、そのデータを蓄積し、今後データが蓄積され次第、曜日・時間帯別のホーム上混雑度の統計データをグラフで表示します。ホームの混雑状況を「見える化」することで、お客さまご自身で空いている場所を選択し、よりスムーズにご乗車いただけるようになります。三軒茶屋駅・自由が丘駅で試験的に運用を行った後、他駅への導入を検討していきます。

車両別混雑度表示は、列車の車両ごとに、混雑度を6段階に分けて表示するもので、既に運用中の田園都市線に加えて、東横線、目黒線でも順次運用を開始します。空いている車両を「見える化」することで、通勤時など乗車時間を変えることができない場合でも、お客さま自身で空いている車両を選択していただくことが可能になります。



▲ホーム上混雑度表示(イメージ)

進行方向	車内温度	備考
1	15℃	
2	19℃	優先乗車
3	19℃	
4	19℃	
5	19℃	
6	20℃	
7	18℃	
8	19℃	
9	19℃	
10	20℃	

▲車両ごとのリアルタイム情報表示(イメージ)

また、田園都市線の5000系については、車両ごとのリアルタイムの混雑度や車内温度の情報のほか、ベビーカー・車いすスペースの位置が表示されます。乗車前に列車の情報が確認できるようになることで、比較的空いている車両やベビーカースペースのある車両など、お客さまにとってより快適な車両を選んでいただくことが可能になります。

当社では、今後も東急線をご利用されるお客さまに対し、一人一人のニーズに沿った情報を提供し、「安全」「安心」「快適」のたゆまぬ追求をめざします。

新しくなった「東急線アプリ」の機能の詳細および画面のイメージについては別紙のとおりです。

以上

別紙

1. 新機能

(1)「駅視－vision(ホーム上混雑度)」

① 内容

対象駅の上下ホームの駅構内カメラの画像を10秒ごとに画像解析し、エリアごとの人数をカウントし、ホーム上の混雑をヒートマップ形式で「東急線アプリ」に配信する実証実験です。あわせて、そのデータを蓄積し、今後、曜日・時間帯別に各駅のホーム上の混雑度の統計データを表示します。実験後、お客さまからご意見をいただき、データの表示方法や配信ツールなど将来的な活用方法を検討します。

② 配信開始予定日

2018年9月28日

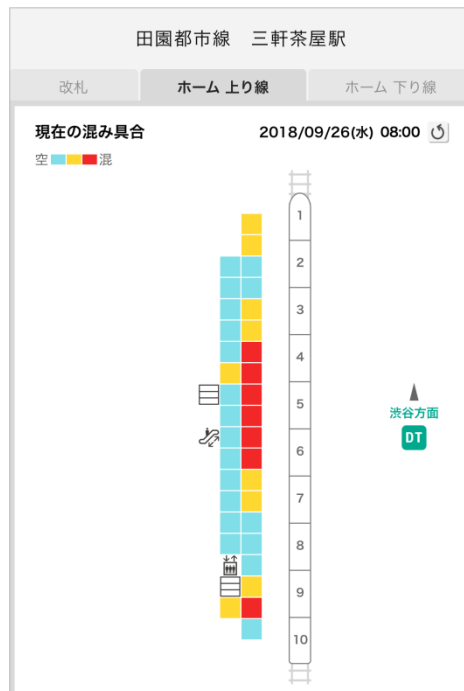
※本機能をお使いいただくにはアプリのアップデートが必要となります。

③ 対象駅

田園都市線 三軒茶屋駅(上下ホーム)

東横線 自由が丘駅(上下ホーム)

④ 「東急線アプリ」画面イメージ



「駅視－vision」は、株式会社日立製作所(以下、日立)が開発した画像データ解析技術を活用することで、お客さまのプライバシーを保護しつつ、改札・コンコース付近に続き、ホーム上の混雑状況も直感的に把握することができます。なお、改札・コンコース付近を配信する「駅視－vision(改札付近混雑度)」については、2018年度末までに東急線全駅(こどもの国線・世田谷線を除く)で展開が完了する予定です。

⑤ 参考資料:「駅視-vision(改札付近混雑度)」

・駅構内画像配信方法

データ加工技術を用いて駅構内カメラシステムからプライバシー加工を施されたデータとして取得しています。この処理済のデータの取得から公開まで外部からのアクセスが不可能な環境において行われ、個人情報ではなく匿名情報として東急線アプリに配信しております。加工されたデータは約1分おきに上書きが繰り返され、システム内には直近の匿名データのみが1画像分保存されます。

※駅改良工事等の事由により、予告なく配信が一時的に停止される場合がございますのでご了承ください。

・対象駅:東急線全駅(世田谷線・こどもの国線を除く)

※全駅完了予定日:2018年度末(2018年8月末現在 74駅展開)

・配信画像例



(2)車両別混雑度表示の東横線、目黒線追加表示

① 内容

既に実施中の田園都市線に加え、平日の東横線、目黒線の全列車車両ごとに、混雑度を6段階に分けて表示します。混雑度は、東急電鉄が持つ、一部列車の車両別の荷重状況を基にした乗車率データと、ナビタイムジャパンの「電車混雑シミュレーション」技術によって予測される、列車ごとの混雑度を組み合わせることで算出しています。本サービスは「東急線アプリ」だけでなく、ナビタイムジャパンが提供する「NAVITIME」および「乗換 NAVITIME」でも配信予定です。

② 配信開始予定日:2018年11月~12月

③ 「東急線アプリ」画面(実施中の田園都市線混雑度表示)



(3)「列車走行位置」内列車詳細情報表示(リアルタイム車両別混雑度表示等)

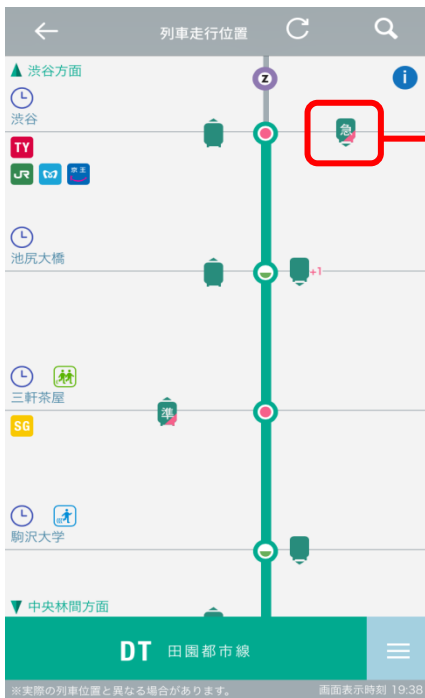
① 内容

全路線の「列車走行位置」機能において、車両アイコンをタップすると当該列車の種別や行先、停車駅、時刻表に基づく到着時分などが確認できるようになります。田園都市線の5000系(全18編成)においては、上記に加え車両ごとのリアルタイムな混雑度や車内温度などの情報を表示します。ほかにも弱冷房車や、ベビーカースペース、車いすスペースの位置が表示されます。

※列車ごとの停車駅、到着時刻の表示はあくまでも時刻表に基づいた表示であるため、行先の変更などがあった場合は実際と異なる場合があります。

② 配信開始予定日:2018年9月28日

「東急線アプリ」画面



列車走行位置



行先・到着時間表示等(イメージ)



車両別リアルタイム情報表示(イメージ)

※「NAVITIME」は、株式会社ナビタイムジャパンの商標または登録商標です。

2. 「東急線アプリ」ダウンロード先

- ・iOS <https://itunes.apple.com/jp/app/id604757991?mt=8>
- ・Android OS <https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.co.tokyu.tokyulinesapplication&hl=ja>

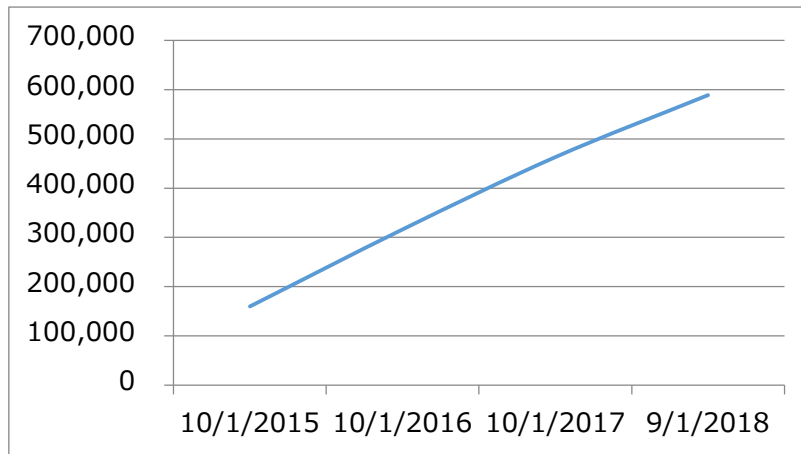
3. 利用料:無料(※ダウンロードにかかる通信費はお客さまのご負担となります)

4. 既存機能

- ・東急線の運行情報
- ・運行情報のプッシュ通知配信
- ・列車の現在位置表示
- ・駅施設に関する情報(お手洗い、エレベーター位置など)
- ・駅間time
- ・マイ乗降駅(トップ画面カスタマイズ)
- ・時刻表
- ・迂回ルート検索
- ・駅構内カメラ画像配信サービス“駅視-vision(エキシビジョン)”
- ・遅延証明書の取得
- ・天気予報表示
- ・定期券予約システムへのリンク

5. ダウンロード数の推移

2015年10月1日(木)から、2018年9月1日(土)までの総ダウンロード数は、約59万ダウンロードです。



6. アプリ制作会社

株式会社アイリッジは、「インターネットを通じて、世の中に新しい価値を創り続けていく」という理念のもと、企業のO2O(オンラインとオフラインの相互送客)支援を行っています。スマートフォン向け位置情報連動型プッシュ通知ASP「popinfo」の提供や、アプリの企画・開発、アプリを活用した集客・販促支援を行っており、O2Oやアプリ開発の分野では業界トップクラスの実績があります。(<https://iridge.jp/>)

■東急電鉄「いい街 いい電車 プロジェクト」とは...

「いい街 いい電車 プロジェクト」とは、東急電鉄が選ばれる沿線日本一に向け、沿線のみなさまとの近くて良い関係「近い関係」を目指すプロジェクトです。駅がもっと身近になる活動を通して、愛着のある「いい街」と、いつでもどこでも安全に移動できる、安心・快適な「いい電車」の実現に向け、積極的に活動します。

